

## 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

評価対象年度	平成 27 年度
--------	----------

【事務事業の基本的事項】

事務事業名	成人式費			
担当課係名	生涯学習 課	生涯学習 係	作成者	松橋 幸太郎
総合計画での位置づけ	施策の大綱	明日を担う人材を育む教育文化のまち		総合計画のページ  96
	基本計画	生涯学習の推進と社会教育施設の整備		
	主要施策	社会教育活動の充実		
予算費目	一般 会計	10 款 教育費	5 項 社会教育費	1 目 社会教育総務費
事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 成 18 年度 <input type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 年度		新規/ <input type="checkbox"/> 続の区分 <input type="checkbox"/>	継続
性質区分	市民サービス	公共事業	施設維持管理	補助金 内部管理
根拠法令等	なし			
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 直営（一部民間委託）		<input type="checkbox"/> 民間委託（全部）	<input type="checkbox"/> 補助

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	仙北市内の中学校を卒業した者並びに他市区町村等から仙北市に転入した者で、4月2日から翌年4月1日までの間に21歳となる者。
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	成人となったことを祝うとともに、成人としての自覚を促す。
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	成人式式典の準備・開催。 事前に市内在住の成人式対象者（各中学校から数名）による準備会を設置し、役割分担、アトラクション等の打合せを数回行う。なお、アトラクションについては、成人者により実施の有無、内容が決定される。

【事務事業の推移】

		項 目	単 位	26年度実績	27年度実績	
効果	活動指標	式典開催	目標	回	1	1
			実績	回	1	1
			達成度		100.0%	100.0%
	成果指標	式典開催	目標	回	1	1
			実績	回	1	1
			達成度		100.0%	100.0%
投下コスト	項 目		総事業費	26度決算額(千円)	27年度決算額(千円)	
	事業費（人件費を除く）(A)			131	117	
	人 件 費 (B)		—	1,638	1,708	
	職 員 数		—	0.20	0.20	
	職 員 平 均 人 件 費		—	8,192	8,540	
	(A) + (B) 投下コスト		—	1,769	1,825	
	財源内訳	国 庫 支 出 金			0	0
		県 支 出 金			0	0
		地 方 債			0	0
		そ の 他			0	0
		一 般 財 源			1,769	1,825
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—	1,769,000	1,825,000	
	市民1人当たりのコスト(円)		—	61	64	

【事務事業の今までの成果】

毎年8月15日に成人式式典を開催している。該当者の参加率は例年80%前後となっている。市長や来賓から成人を祝うことばをいただくことで、成人者としての自覚を促すとともに、仙北市民としてのアイデンティティの確立にも寄与している。また、式典終了後には成人者有志によるアトラクションが開催され、結束の強さが確認される。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	年齢調整など特殊な事情がない限り、ほぼ全て市区町村で開催されている。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	成人者が仙北市民歌を覚えていない様子である、この機会に仙北市の現況を知ってもらうチラシの配布・コーナーの設置を検討したらどうかとの意見が聞かれた。

【一次評価】

判定	事業の方向性	判定に至った理由
A	A 現状のまま継続（実施）	事業実施方法等に変更はないが、式典の合間に仙北市のイメージ映像を流したり、ロビー等に仙北市の現況を示すパネルを設置するなどして、仙北市民であることをより強く自覚してもらう工夫を検討したい。
	B 1 見直しの上で継続（拡大）	
	B 2 見直しの上で継続（手段改善等）	
	B 3 見直しの上で継続（縮小）	
	C 1 大幅な見直しの上で継続（拡大）	
	C 2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等）	
	C 3 大幅な見直しの上で継続（縮小）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	
	E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業）	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

【二次評価】

判定	判定に至った理由
A	映像を活用するのであれば時間はかかるが、恩師からのメッセージや先輩方の仕事ぶりを紹介してはどうか。二十歳は学生であれば就活前の絶好のタイミングで有り、Uターンのきっかけにもなる。成人者の式の運営はとても良い事だ。

